

## 便利で豊かな暮らしの変革、あったかスマートビレッジ構想

### 基本方針 1

#### 村民の暮らしDX

行政手続きをデジタル・オンライン化し、村民が場所や時間を問わず簡単に手続きを行える環境を整備することで、生活の利便性向上と安全で安心な暮らしの実現の推進を図る取り組み

##### 1. デジタル技術を活用した行政サービス

- 公共施設等のWi-Fi環境の整備
- 行政手続き等のデジタル化
- デジタル活用による情報発信の強化等

##### 2. デジタル技術を活用した教育の充実・子ども・子育て支援

- NEXTGIGAスクール構想の推進
- 保育業務のICT化
- 子育て支援アプリの活用

##### 3. デジタル技術を活用した産業振興

- スマート農林水産業の推進
- 観光・物産振興へのデジタル活用

##### 4. デジタル技術を活用した防災・減災対策

- スマート防災の推進

##### 5. デジタル技術を活用した地域の安全・安心な環境整備

- 医療分野のデジタル活用
- 健康づくりへのデジタル活用
- 子どもや高齢者の見守り支援
- 地域公共交通の再構築

##### 6. デジタルデバйд対策

- 地域デジタルサポートの推進
- ICT活用講座等の実施
- DXイベント等の実施
- ICT環境整備支援

### 基本方針 2

#### 行政の仕事DX

持続可能で質の高い住民サービスの提供を実現するため、既存の業務環境や業務プロセスを見直し、効率的な業務環境を整備することで、職員の働き方改革の推進を図る取り組み

##### 1. 自治体情報システムの最適化

- 行政情報システムの最適化
- 情報基盤ネットワークの強化とクラウドサービスの利用

##### 2. 自治体業務へのICTの活用による省力化

- AI・RPAの利用促進
- ペーパーレス化の推進
- 情報共有手段の見直し
- 業務プラットフォームの構築
- ノーコード・ローコードツールの活用
- GISの利用推進
- テレワークの推進

##### 3. 情報セキュリティ対策の強化

- 情報セキュリティポリシーの見直しと運用の徹底
- 職員のITリテラシーの向上とDX意識の醸成

##### 4. BPRの推進

- アナログ作業の見直しと省力化
- 作業マニュアルの共通化と可視化
- スマート自治体への転換

#### 計画期間

令和7年度～9年度（3年間）

※以降3年周期で見直し（改訂）

### 基本方針 3

#### 地域・産業のDX

ICT技術の活用と産学官等の多様な連携により、地域の課題解決と活性化に取り組み、誰一人取り残されない、村民に寄り添ったICT化の推進を図る取り組み

##### 1. 官民連携協働によるソーシャルイノベーションの創出

- 官民データ利活用の推進
- 官民共創による地域課題解決

##### 2. デジタル技術を活用した持続可能な村づくり

- 公共インフラ管理へのICT技術の活用
- 地域エネルギー戦略とデジタル化の推進
- 災害に強いまちづくりとデジタル化の推進

#### DX推進体制

官

民

DX推進本部

提案 ⇄ 承認

DX推進委員会

課題共有・連携

DX推進担当

相談 ⇄ 支援

各原課

ワーキングチーム

相談

民間パートナー  
外部専門家等